

# 令和 2 年度中野区放課後デイサービスセンターみずいろ事業報告書

令和 3 年 3 月 31 日

特定非営利活動法人わかみやクラブ

理事長 青柳 通

## 1. 運営方針

児童福祉法および厚生労働省令等に基づく指定障害児通所支援事業として、同法等の遵守運営管理し、利用する児童の個性、尊厳、安心、安全、権利擁護を最優先しながら、取り組んできた。

しかしながら、令和 2 年度は、新型コロナウイルス感染症(以下、コロナ)により、今まで通りの運営を行うことができず、予防を最優先とする対応を余儀なくされた。

緊急事態宣言下においては、通常のサービス提供時間の枠を超えての利用の受け入れやコロナへの心配から欠席となる児童への家庭支援を実施してきた。また、みずいろは、定員 28 名という大きな集団であることや毎日の利用者が変更することなどから、毎日の利用者の状況を考慮しての活動を実施してきたが、密を防ぐことを念頭に置き、1 グループ 14 名以内で活動する取り組みも行った。

## 2. 職員配置

児童福祉法および厚生労働省令等の指定障害児通所支援事業人員配置基準に基づき、職員配置は年間を通して、規準以上(7 名以上)の児童指導員等の配置は行ってきたが、利用者の男女比に対応できる男性スタッフが不足したため、年度内の常勤職採用や法人内異動を行い、対応していくことができた。

(令和 2 年 4 月 1 日現在)

常勤職員	施設長 1 人・児童発達支援管理責任者 1 名 児童指導員 4 人・保育士 2 名・公認心理士 1 名
非常勤職員	児童指導員 1 名・保育士 1 名・障害福祉サービス経験者 2 名・指導員 4 名 事務員 2 名・嘱託医 1 名

## 3. 事業実績

### (1) 利用者の確保(利用率向上)

既登録利用者には、次年度の利用希望アンケートを 1 月中に行い、次年度の利用日枠の調整を行った結果、既登録利用者および新規利用者においても概ね利用希望を叶えることができた。

一方、水曜日に利用希望が殺到していることもあったが、過去の実績を鑑み、スポット(空き枠)利用を促すことを行った結果、空き枠が有効活用されるようになってきた。

#### ①スポット利用数…302 回(月平均約 25 回)

4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
7	5	16	48	42	25	30	31	21	21	22	34

(2) 利用登録者数の推移

①登録（契約）状況

4月当初の新規契約者数は8名で、登録者数は、46名だったが、途中で引っ越しのため3名の退所があった。その後、新たな利用者を確保するために、相談事業所や区役所にパンフレットを置き、利用希望のある方々を発掘していき、年間トータルの新規契約者は、14名で、登録者数は、49名となった。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
登録者数	46	44	46	46	47	48	49	49	49	49	49	52

②学年別状況

令和2年度の新規契約14名のうち小学1年生が10名、2年生が1名、3年生が1名、6年生が1名だった。

新規利用者は、小学1年生の在籍が大変多く、幼児期から学齢期の移行に伴った生活環境の変化や基本的な生活習慣の自立のために、個別的な対応に力を注いだ1年だった。

③障がい区分について

		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3	高1	高2	高3	合計
愛の手帳	2度	5	1	2	1		1	2		2		1	5	20
	3度	2		2	1		2						1	8
	4度	2	1	3	1	1	1	2					1	12
指標有	3		1				1	1	2				2	10

④学校分布

区内及び都立や私立を含め全10校に在籍する児童の下校対応は、毎日、7校あり同じ学校であっても学年によっては、下校時間がズレるため、2～3回に分割した迎えとなった。また、中野特別支援校においては、2便になることや1便であっても人数が多いため、一度に3名の送迎要員が必要となることもあり、一日の送迎回数の延べ数は、10便、1か所往復平均1時間として延べ10時間が学校送迎に関わる時間となる場合もあった。

利用者は、区内全域からとなっており、地域を限定することなく、区民の利益に貢献してきた。

(3) 運営実績

①放課後デイサービスにおける利用実績

登録者数	営業日数	利用人数	利用率	平均利用人数	送迎利用人数	平均送迎人数
49人	293日	6,092人	74,3%	20,8人	1,0910人 (往復)	37,2人

②一時保護事業における利用実績

総利用時間	利用総人数	平均利用時間
-------	-------	--------

8,5 時間	2 人	4,25 時間/人
--------	-----	-----------

### ③研修

職場内研修として、支援内容の振り返りや充実を図るために外部講師の関りによる OJT を月 1 回、実施していったが、会を重ねるごとに課題の発見や支援の充実を図るべき方策を職員全体

で検討し、実行に移していくことができ、新たな活動につなげていくことができた。また、個人情報保護に関する研修を実施した。

自己啓発の一環として、介護福祉士の資格取得した職員もいた。

年間研修計画については、キャリアに応じた資格取得やスキルアップにつなげられる計画として児発管や強度高度障害に関する研修、相談支援や医ケア研修等様々、申し込みを行ったが、児発管、医ケア研修に各 1 名のみ受講できただけだった。

### ④サービス提供時間等の変更

新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発令下においては、学校休業により、通常より長時利用できるように、平日のサービス提供時間を 13:30 から利用を 12:00 から利用受付とした。

### ⑤地域活動

新型コロナウイルス感染症防止を優先することを第一と考えたため、地域社会や他事業者等と交流することは、ほとんどできなかったが、コンビニやファミレス等への買い物体験などは、積極的に行っていた。

## (4) 運営管理

### ①苦情および要望等

保護者等の意見・要望等は、通所時の連絡ノート・保護者面談・保護者会および玄関の下駄箱上設置の意見箱で募り、都度対応した。意見箱への投書はなかった。また、アレルギー対応については、意見等を頂くこともあったが、都度、丁寧に対応した。

### ②サービス評価について

- ・サービス評価については、12月に実施し、集計結果をホームページ等に公表した。
- ・令和2年度、福祉サービス第三者評価を実施した。

### ③危機管理及び防災対策

- ・毎月1回、避難訓練を実施した。
- ・消防署の協力の元、通報訓練及び自衛消防訓練を実施した。
- ・開設後、初となる防災引き渡し訓練を実施した。
- ・感染症拡大防止のために、所内のアルコール消毒の手順を定め、環境衛生に努めた。
- ・個人情報保護研修を行い、意識向上に努めた。